

職種

「理系が活躍できる仕事」「企業が理系を積極採用している職種」は、研究職やエンジニアだけではありません。かつて“文系就職”とイメージされていた金融や商社といった業界でも、論理的思考力や数理能力に長けた理系人材を積極的に採用したいという企業は少なくありません。今号の理系ナビでは、営業やコンサルタント、金融専門職といった仕事を“ビジネス系職種”と総称し、その中でも理系学生が特に注目すべき職種を紹介・解説します。

OCCUPATION

戦略コンサルタント

クライアントが抱える課題の
解決策立案から実行まで

戦略コンサルタントは論理的思考力（ロジカルシンキング）が特に重視され、理系人材が多数活躍している職種です。明確な正解がない経営課題に対して“徹底的な調査・分析”“最適な解を見出す”という作業に研究活動との共通点を指摘する理系出身者も多く、メーカーがクライアントの場合は専門知識を活かせるシーンもあります。

OCCUPATION

金融専門職

高度な数理能力が求められる
金融専門職は理系の独壇場

数理統計や確率など高度な数理能力が求められる金融専門職。生命・損害保険の料率設定などを担う「アクチュアリー」や証券会社などで市場動向分析や金融商品の開発を手掛ける「クオオンツ」などが有名。その他にもトレーダーやアナリストなど、金融業界で多数の理系人材が活躍しています。

OCCUPATION

弁理士／ 知財・法務部門

製品・技術の権利を守り、
メーカーの事業戦略を加速させる

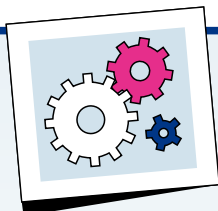
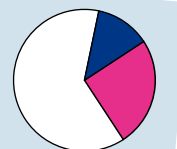
メーカーのグローバル展開にともない、事業戦略における重要性が高まる知的財産・特許の管理業務。技術的な専門知識を有している特許・知的財産のスペシャリストに対するニーズは高まり続けています。近年は、難関の国家資格「弁理士」資格の取得を目指す理系人材も増えています。

OCCUPATION

テクニカルライター／ 編集（技術系専門情報誌など）

理系の専門知識をベースに
世の中に情報を発信

工学系から医薬系まで、世の中には様々な技術系専門誌、WEBメディア、取扱説明書が存在します。それらを制作するためには、各専門分野を深く理解している編集者や専門ライターの存在が欠かせません。その他にも、語学力を活かした海外向けマニュアルの制作需要なども高まっています。



理系が活躍できる ビジネス系

OCCUPATION

技術系公務員

理系の知識を活かして、
日本や地域に貢献

技術系公務員は、理系の知識を活かして国家政策を作り上げていく“総合職”と、その政策を実行する“一般職”、地方行政で様々な業務に携わる“地方公務員”などがあります。機械系から化学、電気、情報、物理、建築土木、農学、水産系まで幅広い仕事が存在するので、自身の専攻を活かせる仕事が見つけれられるはずです。

OCCUPATION

営業（メーカー／IT）

お客様と直接向き合い、
製品の最適な活用方法を提案・サポート

文系就職と思われがちな営業ですが、ITやメーカーでは製品や技術への理解を深めやすい理系人材を歓迎しています。技術的なサポートやアフターケアなどが主要ミッションとなる企業もあり、技術営業やサポートエンジニアなど、企業によって仕事の役割や呼ばれ方は様々です。

OCCUPATION

営業（商社／金融）

理系の素養や知識を活かして
ビジネスを動かす

商社では精密機器や化学製品、医薬品など理系と親和性の高い商材を取り扱うことが多いことに加え、新興国におけるインフラ開発といった国家プロジェクトに携われることもあります。金融業界でも複雑な数理モデルが組み込まれた金融商品を取り扱うため、数字に強い理系人材を歓迎しています。

OCCUPATION

総合職

様々な業務を経験し、
将来的に企業の中核を担う

様々な仕事を体験しながら将来的には会社の中核を担うことを期待される採用職種。日系大手企業などを中心に「総合職」採用は多く行われており、総合職として入社しなければ将来的に携わることが難しい職種（総務、人事、マーケティング、商品企画、経営企画など）もあります。

👉 次ページからは理系が活躍できる「金融専門職」を紹介します。